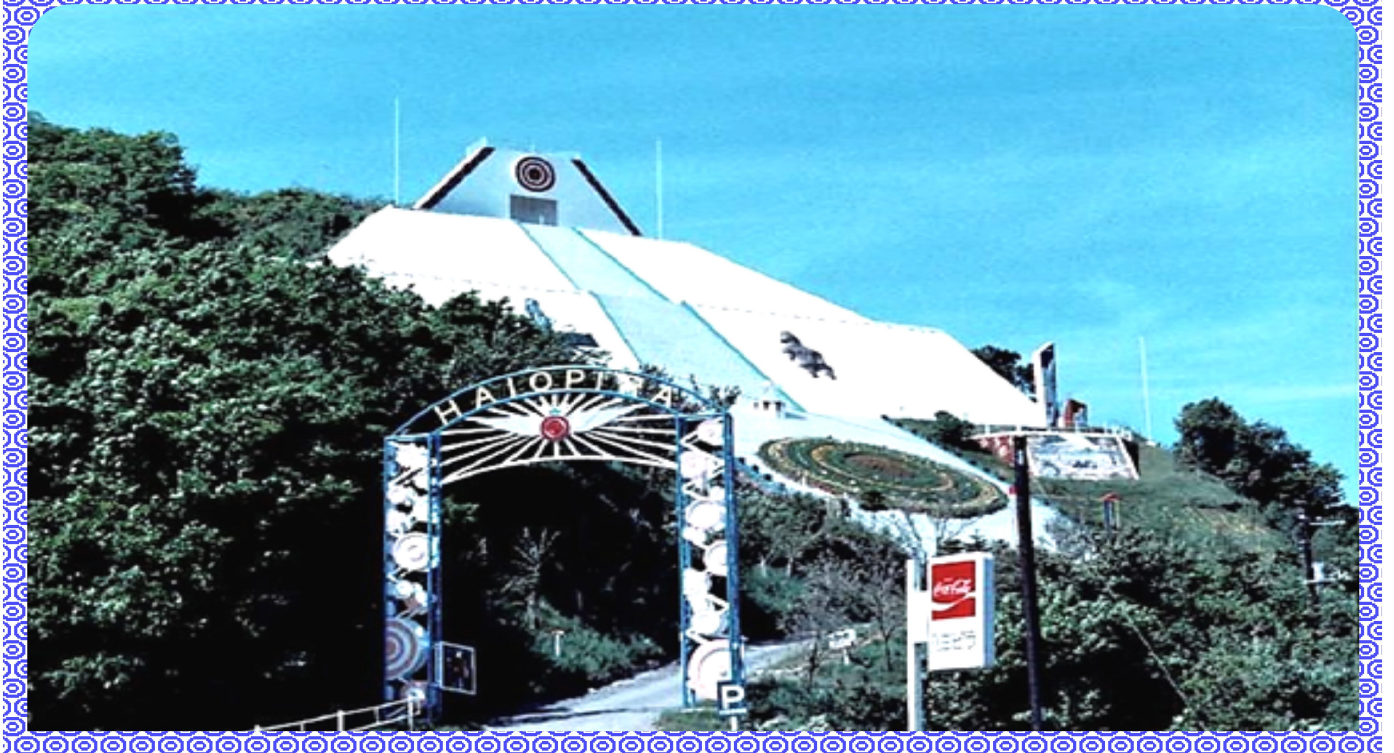


国際UF0デー第71回記念式典開催



2018年6月24日、人間の聖地ハヨピラにおいて、国際UF0デー第71回記念式典がとり行われた。

駐車場に集合し、憶いを込めて用意した式典準備のための品等を携え入園。

オキクルミカムイ像の前で献花、献酒後、大階段を上り、オベリスク周辺の草刈りや清掃を行う。

オベリスク前の祭壇には花や酒、2016年8月にスタッフ4名が岐阜・長野を取材し明らかとなった八面大王の事実を特集したエアロー誌を並べ、カムイへ奉納した。

12:00 平取町のサイレンを合図に式典がスタート。

メンバーの名前が呼ばれ順次献酒を行った。オベリスク前での記念撮影も行った。

その後はオベリスクとUF0像の中央あたりで

昼食をいただき談話となった。

天候は、札幌出発時には晴れ、平取が近づくと少し薄曇りに。

代表らがハヨピラに向かう際の車の上空はぽっかり晴れ、太陽もずっと出ており、平取が近づくと見えたり隠れたりしていたという。

式典時には薄曇の合間から時より太陽が見え、次第に晴れ間が広がっていく天候となった。

式典は、雨でも曇りでもなく晴れでなくてはならない、体制が整っていないと天候も崩れると話していただき教えていただいた。

談話では、なぜ様々な人種が存在するのか、についてそれぞれの考えを述べ合った。

代表から地球の進化の過程・第五惑星との関連などについても伝えられた。

また、過去6月24日のUF0出現には共通点が



あり、出現が多い時刻は15時であることを教えていただいた。

この式典の発端となっているケネスアーノルド事件の目撃時刻が15時である。

天候や時刻、国、地、誕生地域など、天の計画に意味のないことはないと感じられた。

15:00 カメラを用意し空を見上げ撮影を行い、式典は終了した。

その後片付けをし、ハヨピラを退園した。

今回、ハヨピラ入園直後、以前は交流があったというアイヌの方から、6月18日午後3時頃、シルバー色のバスケットボール大のUF0がハヨピラ上空から二風谷ダムの方へ飛来したという目撃情報が寄せられた。

同日大阪府北部を震源とする大きな地震が発生している。



アイヌの方を介して我々にUF0目撃情報がこの日伝えられたことも、何らかのメッセージであると感じずにいられない。

6月24日、この地に立たせていただけるのも、ハヨピラに降り立った太陽神オキクルミカムイが共に生活して伝えた人間の生き方の教導・現代の太陽神である松村氏の偉業の一つである聖地ハヨピラの復活・それを受け継ぎ立花氏によって創立されたエアロスペースというこれまでの人間の歴史があるからなのである。

その恩恵に感謝し、それを引き継ぐ者として、前号エアロー誌ラストページのチーフメッセージを胸に、一步一步向かっていくほかないのだ。

〈Y. K〉

